

10月26日：大型株が下落し指数を押し下げる

ホーチミン取引所のVN指数は10ポイント下落し1.09%安の950.8ポイントで取引を終えた。

286銘柄が下落し137銘柄が上昇した。

多くの大型株が引け間際に下落した。

VN30指数では6銘柄のみが上昇し23銘柄は下落となった。

大きく上昇したのは、ビンググループ (VIC)、フーニュアンジュエリー (PNJ) で午前中には4%以上上昇していたが最終的には1.1%高で取引を終えた。

ビンホームズ (VHM) とビンコムリテール (VRE) はそれぞれ1.3%、2.1%安となった。

マッサングループ (MSN) は2.2%高で取引を終えた。三菱マテリアルがマサン傘下のマサンハイテクリソシーズに出資をすることを伝えてのことだった。

一方、銀行、証券、不動産、石油ガス、航空セクターは下落した。

大きく下落したのは、BIDV証券 (BID)、ベティンバンク (CTG)、軍隊銀行 (MBB)、FPTコーポレーション (FPT)、PVガス (GAS)、VPバンク (VPB)、サコムバンク (STB)、テクコムバンク (TCB)、ホアンファイインベストメント (TCH)、TTC製糖 (SBT) などで2-4%の下落となった。

BIDV証券によると、利益確定圧力が高まり950ポイントまで押し戻される展開となった。この辺りでは利益確定が高まることを示していた。

先週には、VIC、VHM、BVH、POW、HPG、MSN、VJCなどが大きく上昇しVN指数は6連騰、ハノイHNX指数は12連騰となっていた。

VN指数は暴落はせず、940ポイントを維持するだろうと同社は予想した。

ハノイ取引所HNX指数は1.88%安の139.03ポイントで取引を終えた。

流動性は高水準、4億9000万株が取引され売買代金にして9.4兆ドンであった。

外国人投資家は売り越しを続けた。南部で4210億ドルの売り越しだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。